

西村直記さんがコンサート

「天地嘆かう」など10曲披露

震災犠牲者 追悼 慰霊

収益金は被災地へ

国内外の音楽巡礼を続けているシンセサイザー奏者の西村直記さん(四七)が、阪神大震災犠牲者の追悼曲と慰霊曲など約十曲を披露するコンサート「阪神大震災受難者に心寄り添うタペ」が二十三日午後六時から、岡山市幸町の西川アイプラザで行われ、約三百人の聴衆が耳を傾けた。

西村さんは「ここで聴く音楽」を目指し、平和なとをテーマに、四国八十八

カ所音楽巡礼の旅を実施。

一九八八年から世界八十八カ所の音楽巡礼を始めており、広島市の平和コンサートへの参加や、ハワイの真珠湾での音楽法要(八九年十二月)、バチカンでのローマ法王謁見演奏(九〇年十二月)などを行っている。阪神大震災では神戸のホテルで自ら被災。「天地嘆かう(阪神大震災受難者追悼曲)」、「立ち上がりしもの(同慰霊曲)」を収録し

たCD「PEACE」を今月二十一日に発売している。

CD収録の追悼曲と慰霊曲は、仏教音楽を手がけていた西村さんと知り合った岡山市の長泉寺住職、宮本光研さん(五〇)が作詩を担当。そのつながりから、宮本さんが所属する「国際貢献」ピア岡山構想を実現する会がコンサートを主催、PEACEの収録曲を中心に約十曲が演奏された。

収益金は、被災地に義援金として贈られる。